

ためし 最高! ~たのしく めあてをもって しっかり学ぶ子どもを育む~



長崎市立為石小学校
学力向上プラン

めざす「為石っ子の姿」 3つのためし

- ① **知** たのしく めあてをもって しっかり学ぶ子 <確かな学力・正しい学習習慣>
- ② **徳** ただしく めあてを しっかり守る子ども <人権感覚・省察力・共感力>
- ③ **体** たくましく めあてに向かって しっかり鍛える子ども <正しい生活習慣・しなやかな心と体>

今年度数値目標

- 全学年でキュビナの週ごとの活用 100%をめざす。
- 家庭学習の習慣化 100%をめざす。
- 12月学力調査で前年比、増をめざす。

長崎市第5次総合計画 G1ー1 確かな学力の向上

(学び合い・学び続ける学校)

- 1 授業中心(対話的な学びの充実)
年間1回全員授業(校内研修)
- 2 学級活動の充実
全体計画、年間計画の見直し
- 3 カリキュラムマネジメントを意識した授業改善(反省を踏まえた次年度教育計画の適時査定)
- 4 道徳の確実な実施
- 5 ワークライフバランスの定着

今年度の重点目標:だれ一人取り残さない学力保障 ~一人も独りにしない学びの実現~

- 一人一人の実態に応じた指導による基礎学習の定着
- 児童に身に付けさせたい力を明確にした授業づくり
- 「めあて」と「まとめ」が児童に届く授業の実践
- 特別支援教育の充実(学習環境・学習規律・学習方法のユニバーサルデザイン化)
- 幼・保・小・中の学びに関する連携と家庭学習の習慣化

全国・県・市の学力調査の活用サイクル
(4月) 学力調査実施
(8/9月) 市・県・全国学力重点課題等の分析
課題確認と学力向上プランの見直し
(2学期) 各学年に応じた学力向上対策の実施
(12月) 取組の検証(学力調査の実施)
成果と課題の確認

授業改善

- 主体的・対話的で深い学びの推進
- 基礎基本の定着を図る工夫
・学びタイムの活用
・指導の徹底・繰り返し
・語彙力を高める掲示物の工夫
- 自己評価と形成的評価の工夫
- ICT機器の活用
- 反転授業
- 单元内自由進度学習

生徒指導

- 「学習のきまり」での学習スタイルの統一
- 授業の始まりと終わりの厳守
- 子どもを語る会との連動
- 支援員の効果的な配置

特別支援教育

- 問題解決的な学習, 自主的・自発的な学習の推進
- ユニバーサルデザインによる学習の推進
- 学習課題「めあて」と「まとめ」のおさえ
- 振り返りの質の向上
- 板書の構造化
- 「学習のきまり」での学習スタイルの統一

学習規律

- 日課の工夫
・朝の活動
(学びタイム・読書タイム)
- 「学習のきまり」での学習スタイルの統一
- 授業の始まりと終わりの厳守

学級経営

- 校内研修による授業改善
- 日々の授業の充実と工夫
・ICT機器の活用と活用内容の共有化
・全国学力調査の結果分析による授業改善
- 現職教育で学ぶ
- 研修会への参加, 共有化

分かる授業

- 校内指導体制の工夫
- 個に応じた指導の充実
- ICT機器の活用
(Chromebook・電子黒板の活用)
- 隙間時間の活用
- キュビナの利活用
- 学習履歴の利活用

学校・家庭・地域で すべての人が総がかりで育てる~夢や希望をかなえるために~

◆学 校◆

- 学校生活習慣の確立
(学校生活のルールづくり 児童の規範意識を高める環境づくり)
- 教師と児童の好ましい人間関係の構築
- 児童間の互いのよさを認め合う雰囲気の醸成

◆家 庭◆

- 基本的な生活習慣づくり「あははも運動」の推進
(「一目でわかる為石小学校のくらし」活用)
- 家庭生活習慣づくり(「家庭学習の手引き」の活用)
- ゲーム・テレビ・ケータイ等のルール(メディア講習会)
- 読書環境づくり
- 学校公開等への参加

◆地 域◆

- 地域行事での道徳性の育成
- 地域の方々の学校教育への協力
・学校関係者評価の充実 地域人材の活用
- 地域の安全確保
- 地域各団体(自治会, 民生委員・主任児童委員, 子どもを守るネットワーク等)の連携